

まち育てミーティングについて

■目的

弘前市は、「暮らしを楽しめるまち」を目指す都市の姿として、平成26年度に都市計画マスタープランを策定しました。今までの人口増加社会から人口減少社会となった現在、少子高齢化や後継者不足などの課題により、生活の利便性低下や地域コミュニティ・地域活動の衰退などが懸念される中で、**成熟した持続可能な都市**となるためには、全員で居住環境等の維持・向上を考え、**地域力**をより向上させていくことが重要です。

まち育てミーティングは、全体的な弘前市のまちづくり構想を元に、中学校区ごとに自分たちや子・孫世代のために**地域別の特色を活かした将来構想**を策定し、実践に繋げ、さらには次世代へも継承していける仕組みを創ることを目指します。

■内容

【まち育て】

…まちの様々なことを学び、考えながら、自分たちでできることから、よりよいまちづくりを目指そうとする継続的な取組です。市民と行政と一緒に地域の将来について考えていく協働によるまちづくりを行っていきます。

【まち育てミーティング】

…身近な地域の特性・特色を活かしたまちづくりについて考えるワークショップです。このワークショップを通して、地域の資源を活かしながら住まい環境をより良いものにしていくために、具体的にどんな取組が必要で、どうしたら実現できるのかを地域住民・関係者・行政と一緒に検討し、実践に繋げていきます。

★地域の特徴（自慢、大切なもの、気になること）を考えます！

地域の身近な暮らしの環境や地域の特徴について認識を深め、自分たちの生活する地域のまちづくりについて考えます。

★地域マップ、まちづくりプロジェクトリストを作成します！

検討の内容を整理し、地域の自慢マップ（地域の特徴や資源を示した地図）、今後取り組みたいまちづくりの内容を並べたプロジェクトリストを作成します。

★特に取り組みたいもの、実現可能性が高いものを実践に結び付けていきます！


特に取り組みたいもの等を「自主的に実現する方法」や「弘前市の“市民参加型まちづくり1%システム”などの活用」など、実践に結び付けていくことを想定しています。

今までは… **人口増加**



まちを拡大させる
行政主導のまちづくり

これからは… **人口減少**



まちを持続させる
地域と行政の協働によるまち育て

■検討の流れ

第1回：地域の自慢を出し合い、地域の特徴を考えよう

○主な検討内容

地域の自慢できること、気になっていること（心配事）、取り組んでみたいこと、ご自身や地域で取り組んでいることを出し合い、地域の身近な暮らしの環境や特徴について認識を深めます



第2回：地域の自慢を磨き、 地域の特徴を活かしたまちづくりについて考えよう

○主な検討内容

自分たちの生活する地域の自慢や特徴を活かし、磨きながら、地域の住まい環境をさらに良くしていくためにどんな取組ができるか考えます。



第3回：まちづくりの最初の一步を考えよう

○主な検討内容

第1回、第2回の検討を踏まえ、まず実現可能性の高いものや特に取り組んでいきたい取組を挙げ、実際に進めていくにはどうしたらよいかを考えます。
…どのような組織で検討していくか（町会やNPO、ボランティア団体、その他）
…活躍してくれそうな地域の組織や人材やその育成方法
…市の「まちづくり1%システム」の活用を含む行政との協働

■検討イメージ



意見交換をしながらポイントとなることを書き込む



意見やアイデアはどんどん地図や模造紙に書き込む



各班で話し合った内容を発表し、話し合いの成果を全体で共有する

※各中学校区の地域別構想は、[市ホームページ](#)でもご覧いただけます。